

第507回遊佐町議会定例会一般質問通告書

平成27年9月定例会

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
1	7 番 阿部 満吉 (一問一答)	1. 暮らしやすい 遊佐のために	<p>1、暮らし易い環境とは、1つは子育てし易い環境と言えるのでは。</p> <p>①保育を任せられる環境は整っているか。</p> <p>②育児上の悩みを解決する体制は整っているか。</p> <p>③子どもたちの医療環境は整っているか。</p> <p>④子育て世代交流の場はうまく機能しているか。</p> <p>2、安心していつまでも暮らせるか。</p> <p>①一人暮らしや、高齢者のみの世帯が増えているが、施設等への待機状況は。</p> <p>②かかりつけ開業医は町にあるのか。</p> <p>③酒田市等、医療機関への通院方法は。</p> <p>④高齢者によるシェアハウスという考え方は。</p>
2	1 番 齋藤 武 (一問一答)	<p style="text-align: center;">1. 遊佐高等学校 存続に向けての 取組みについて</p> <p style="text-align: center;">2. 吉出山岩石採 取地公有地化進 捗状況等と「遊佐 町の健全な水循 環を保全するた めの条例」の運用 について</p>	<p>県の県立高等学校再編方針により、遊佐高等学校は来年春の生徒募集で定員の半数に達しない場合、分校化ではなく廃校になる。まさに存続の瀬戸際にあるが、町民の多くはこの状況を知らないと思われる。存続に向けては死にもの狂いの取組みを要すると考えるが、町長の考えと取組み方法はいかがか伺う。</p> <p>○町は当該事業者の所有する土地を、未着手の箇所を含めて全て公有地化する方針であることを示している。こうした中、昨年度にはコンサルタント会社から「営業補償額」の算定をしてもらったはずであるが、その金額はいくらなのか。また公有地化におけるこの金額の位置付けは。</p> <p>○公有地化の交渉そのものは現在どの段階にあるのか。</p> <p>○遊佐町の健全な水循環を保全するための条例は活用されているのか。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
3	3 番 菅原 和幸 (一問一答)	1. 日沿道・仮称遊佐 IC 以北の整備計画に関連する道路整備と周辺整備について	仮称遊佐 IC 以北については、計画段階評価を終え都市計画決定の告示がなされている。一方、同路線と交差する、県道菅里直世下野沢線の一部は、用地取得後も工事が進まない現状にある。付近には、平成 28 年度に認定を目指す、ジオサイトの候補地が複数あり、多くの方が訪れることが想定される。については、町道整備等を含めた周辺整備について伺う。
		2. ICT(情報通信技術)の活用について	総務省は、地方活性化等を踏まえ、平成 24 年度から「ICT 街づくり推進会議」において「実証プロジェクト」を全国で実施している。ICT の活用は、行政の効率化のほか、農業や観光の振興、救急支援を含む医療現場などに幅広い活用が期待されると考える。本町における取組みについて伺う。
		3. 林業振興について	鳥海山の裾野に広がる森林は、水資源や風土の景観を形成しており、社会的資源とも位置付けられる。世代交代が進むなか森林の管理は行き届かない状況にある。県が「やまがた森林(モリ)ノミクス」を掲げるなか、本町を管轄する森林組合では、「提案型集約化施業」を組合員に対し提案している。本町における林業振興の現状と今後について伺う。
4	5 番 土門 勝子 (一問一答)	1. 加速する高齢化に対する施策は	○三世代家族の推進を 日常生活する中で悩みや事情はどの家族にも多少はあると思う。近隣市町村で暮らす子や孫達と、今一度立ち止まって家族のあり方、家族構成を考えるチャンスと思うが、いかがか伺う。 ○健康寿命の延伸と取り組みは やまがた健康マイレージ事業の考えを。
5	1 1 番 斎藤弥志夫 (一問一答)	1. 地方創生	遊佐町地方創生推進会議の委員は、(1)遊佐町振興審議会の委員 (2)各金融機関の支店長 (3)酒田青年会議所の理事長 (4)その他町長が認めた外部有識者であるが、農業中心の町であることをかんがみて、JA 遊佐支店の支店長、農業関係の代表者をさらに増員、外部有識者として庄内総合支庁の課長だけでなく、大学教授などの学識者を加えるべきである。銀行関係としてはメガバンクの役員なども加えることができればなおよい。

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
6	4 番 筒井 義昭 (一問一答)	1. 小中学生に対するネット・SNS 利用に関する指導は	小中学生や高校生のネット依存が深刻な状況下にある。またラインは、いじめの温床になっているとも言われている。 町立小中学校においてネット・SNS の利用に関して、適切な指導・教育が求められている。 現状と今後の対策は。
		2. 健康マイレージ事業の創設を	県は「健康長寿日本一プロジェクト事業」の一環として「やまがた健康マイレージ事業」を市町村と連携して進めている。 各種検診受診率向上と健康教室・スポーツ教室参加者増への有効な施策と考える。 本事業の創設を検討すべきではないか。
7	2 番 松永 裕美 (一問一答)	1. より良い町づくりの為、職員の発想力向上と町の PR の取り組みについて	遊佐町の美しい景観・特産物・文化を全国に前向きに発信・PR するために、これからも町が取り組んでいこうとしている内容を教えて頂きたい。かつ過去3年間において総務や企画(観光)に各 TV 局から寄せられた取材の申し込み実績(メールも含む)と CM 制作会社からロケ地として声かけをもらっている件数と職員の方の対応の仕方を教えて頂きたい。
		2. 町内小・中学校におけるいじめ・不登校の実態について	予防医学と同じで、いじめ問題・不登校問題も未然に防ぐことが大事だと考える。全国各地で起こっている小中学生の諸問題も遊佐町には無関係という概念ではなく、町の宝物である子供達一人一人を守るべく、学校・行政が現場の実態をどこまで把握しているか、かつ取り組む指針を教えて頂きたい。
		3. 遊佐中学校生徒通学用スクールバスの冬期平等運行について	天候の良い時期はクリアしている中学生の通学(自転車)だが、冬期間悪天候の際はスクールバス利活用方法を今年度から考え直して頂きたい。バス停を全生徒平等に乗降出来るポイントで各地に設定する案はどうだろうか。送迎の車で中学校までの道や父兄駐車場が混雑しなくても良い方策を取る時期にきていると思うのだが。

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
8	10番 土門 治明 (一問一答)	1. 鳥海パノラマパークの利用について	H27年度から本格的に利用が始まったが、利用者とイベントは順調に経過してきたのか。グランドゴルフ大会も開催されたようだが、グランドゴルフ愛好者からは、利用方法が壁となっているようだが、現在の方法で続けていくのか。改善する考えもあるのか。
		2. 体育施設の利用状況について	体育施設の利用が増えているようだ。町内はもとより、町外からの利用も増えていると思う。利用状況をくわしく教えてください。又、本町に足を運んでくれる人を増やすには、体育施設の利用しやすさは欠かせないものと思うので、利用条件の改善も検討できないか。